

見守り、つなぐ民生児童委員

Vol.1

地域の身近な相談役として、必要な支援をしてくれる民生児童委員。今年、民生委員の制度は創設 100 周年を迎えました。民生児童委員のことをもっと知っていただくために、シリーズで紹介していきます。

ご存知ですか 民生委員と児童委員

民生委員制度は、大正 6 年に岡山県で創設された生活困窮者を支援するための済世顧問制度に始まりました。

民生委員は民生委員法により厚生労働大臣から委嘱され、地域福祉の担い手として、高齢者の見守り活動などを行います。また児童福祉法により児童委員を兼ねており、地域の子どもたちの見守り活動なども行います。この 2 つの名称を合わせて民生委員・児童委員（民生児童委員）と呼ばれています。困ったときには相談にのってくれたり、行政機関などを紹介してくれたりする頼もしい存在です。



民生児童委員のシンボルマーク

今回は、民生児童委員はどんな人になるのかを紹介します。

問合せ先 福祉課

わが家の防災メモ

Vol.24

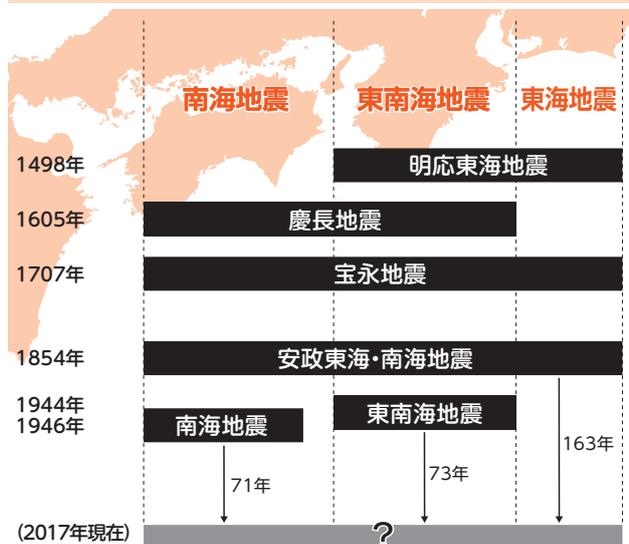
南海トラフ巨大地震とは

南海トラフとは、静岡県の駿河湾から四国沿岸まで続く深さ約 4,000 m の海底のくぼみで、震源域ごとに東海、東南海、南海と 3 つのエリアに分けられます。この 3 つの震源域で同時に起こり得る地震の総称が南海トラフ巨大地震です。この南海トラフでは、過去 100 ～ 150 年間隔で大きな地震が発生しています。

政府の見解によると、南海トラフ巨大地震の発生確率は 30 年以内には 70% 程度、50 年以内には 90% 程度もしくはそれ以上となっています。可見市においても最大震度 6 弱の地震が予測されています。

地震による被害を最小限に抑えるためにも、家庭での備えやいざというときの心構えを日ごろから考えておくことが重要です。

過去 500 年間の巨大地震と発生震源域



※「清流の国ぎふ防災リーダー育成講座」地震のしくみと被害（能島岐阜大教授）の資料を基に作成。

問合せ先 防災安全課